

第3期の振り返り

● 高齢者懇親会は地域の方々に日頃の交流を深めていただく事を目的としているが、同時に高齢者が培った芸等を発表する場となっており好評である。



● 子育てサロンは、母親向けプログラムの企画やジュニアボランティアの企画など内容を充実させたことで、参加者には好評を得ている。



地域福祉保健施設の分布



実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、おおよその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。

背景図：横浜市都市計画基礎調査

施設リスト

子ども施設

- ◆ 認可保育所
- ① ちとせ保育園
- ◆ 小規模保育事業
- ② SAFARI KID 保育園
- ◆ 認定こども園
- ③ 二俣川幼稚園(もりのこ)

高齢者施設

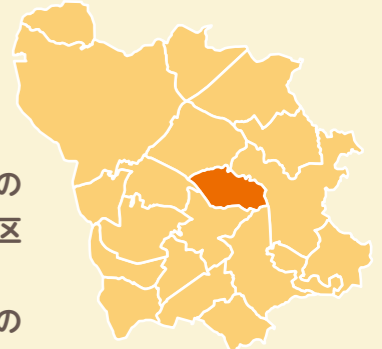
- ◆ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ◇ のぞみの家
- ◇ あさひ別荘
- ◆ 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- ◇ 今川の郷

障害者施設

- ◆ その他の施設(通所、入所、障害児)
 - ① 【通】鶴ヶ峰もえぎ
 - ② 【通】地域作業所天
- 説明
【入】：入所施設
【通】：通所施設
【児】：障害児施設

第4期 きらっとあさひプラン

旭中央 地区



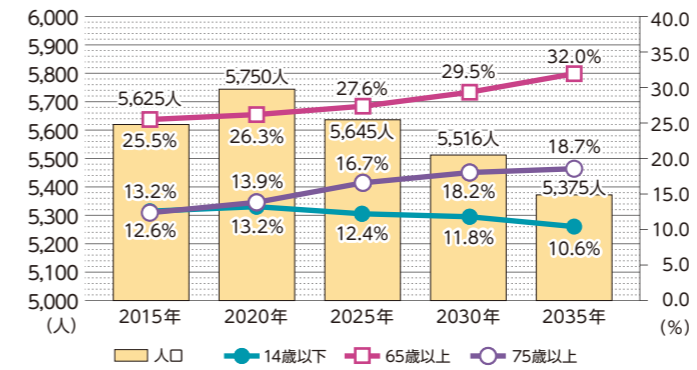
旭中央地区は、北西から流れ込む帷子川と南西からの二俣川の合流地点の西側丘陵を主体にした地域です。分水嶺が町境となっています。市街化調整区域を含みますが、幹線道路に囲まれた地区となっています。

地区内に小中学校がないなど、活動場所が少ない中、地域ケアプラザ等の協力を得て、工夫しながら様々な活動をしています。

DATA

将来人口推計

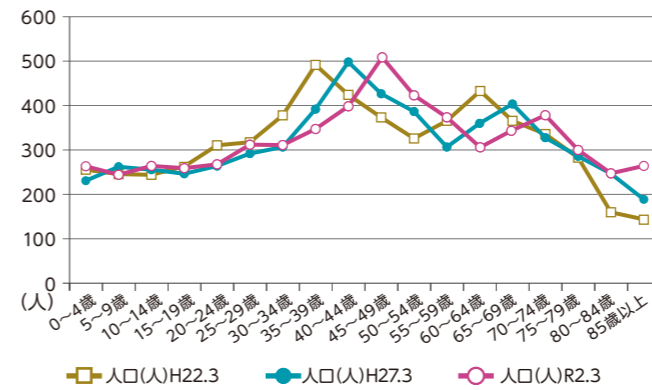
出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯と男女別人口」(各年3月末現在)



将来人口推計は、2020年をピークに減少が推測され、65歳以上の比率は2035年までに30%を超えます。
14歳以下の比率は、2035年に10%台になることが推測されます。

年齢5歳別人口の動向

出典：横浜市統計ポータルサイト(各年3月末現在)



平成22年には35～39歳であった5歳別人口数のピークは、令和2年には45～49歳となっています。また、平成22年・27年に比べて年少人口はほぼ横ばい、70歳以上の5歳別人口は増加しています。
65歳以上の高齢者の割合は、平成27年には25.5%、令和2年には26.3%となり、高齢化が進んでいますが、区平均の29.2%はやや下回っています。

人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	H22	H27	R2	H22～R2 増減数	H27 構成比(%)	R2 構成比(%)	R2 区平均 構成比(%)
総人口(人)	5,662	5,625	5,750	88	100.0	100.0	100.0
0～14歳(人)	733	742	761	28	13.2	13.2	11.6
(内0～6歳)(人)	357	341	357	0	6.1	6.2	4.9
15～64歳(人)	3,661	3,447	3,475	▲186	61.3	60.4	59.2
65歳以上(人)	1,268	1,436	1,514	246	25.5	26.3	29.2
(内65～74歳)(人)	696	728	717	21	12.9	12.5	13.2
(内75歳以上)(人)	572	708	797	225	12.6	13.9	16.0
総世帯数(世帯)	2,368	2,422	2,541	173	-	-	-
平均世帯規模(人/世帯)	2.39	2.32	2.26	▲0.13	-	-	2.13

出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯」、「町丁目別年齢別男女別人口」(各年3月末現在)

※人口・世帯数の数値は町丁目別単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。

私たちが描く地区の未来図

『心の見えるまちづくり』

- 積極的な声掛けにより、高齢者の孤立化を防ぎ元気に過ごさせている。
- 気軽に参加しやすいイベント等の開催を通じ、顔がつながる関係づくりができています。
- イベントを通しての後継者の人材発掘・育成ができています。

目標と主な取組

目標 A 人と人とのつながりを大切に

- ① イベントやサロンを継続実施し、出会いのきっかけとする。
- ② 誰もが気軽に集えるイベントを検討する。
- ③ あいさつ等により、身近に気長に繋がりを持てる方法を検討する。



▲かみふうせん(子育て支援)



▲つぶらの会(一人暮らし高齢者の昼食会)



▲三世代美サイクル(道端の清掃活動中)



▲高齢者懇親会(敬老祝賀会)



▲連合子供会



▲赤い羽根共同募金

目標 B 困りごとに気付ける人材発掘・育成

- ④ 「気になったとき」「困ったとき」に、どうしたらいいのかわかるように啓発方法を検討する。
- ⑤ ご近所同士で気に掛けることができるような方法を検討する。



▲友愛活動推進員による見守りの情報交換



▲コミュニティバス運行委員会による話し合い



推進体制

旭中央地区… 地区社会福祉協議会、自治会・町内会、民生委員・児童委員協議会、保健活動推進員、老人クラブ、友愛活動推進員、青少年指導員、学校、ボランティアグループ、保護司、スポーツ推進委員

会長メッセージ

皆様には、日頃から各種事業の取り組みにご理解ご協力をいただき深く感謝申し上げます。これまで、楽しく安心して、住んでよかったと思えるまちづくりを目指し様々な活動をしてまいりました。近年の新型コロナウイルスの影響を受け、例年通りの活動に支障をきたしましたが、皆様から楽しみにしていますとの多くの声をいただき、できうる限りの活動を続けております。引き続き皆様とともに、よりよいまちづくりを進めてまいります。



▲遠藤 連合町内会長